

04.大阪芸術大学



妹島和世により設計されたこの大学は丘の上に地下を含む三層構造で構成されている。

構造がとても興味深いものとなっており鉄骨の細い柱が等間隔の配置に4箇所のブレースにより成り立たせる構造となっておりスラブ厚についても約450mmでとても厚みのあるものとなっている。そしてそのスラブからつくられる穏やかな曲線が目を引きくものとなっていた。

校舎を取り巻く巨大なひさしは地面にも接しており、そこから内部に入ることができ、2階の半屋外のオープンテラスなども利用可能となっている。

内と外との自然なつながりにより人々の交流の場となること、そして誰もが立ち寄れる、見晴らしのいい丘上の公園というコンセプト全面に感じることができた。

またそれでありながら地下部分には講義の場も構成されており、大学の機能としては当たり前なのだが驚きを感じた。

交流の場と学びの場を的確に区分しながら計画されていることから新たな大学のかたちの実現だと感じた。

佐藤 尚治